

令和5年度 第1回甲斐市総合計画審議会

日 時 令和5年10月10日(火)
午後1時30分～2時45分
場 所 本館3階大会議室
出席委員 18名/22名
欠席委員 小林委員 留守委員
岩下委員 石川委員

1 開会

2 委嘱状交付

・市長から新任の委員4名に委嘱状の交付を行った。

3 市長あいさつ

日頃から市政に対してご理解、ご協力を賜りお礼申し上げます。本審議会については総合計画の実施に関する事項を審議するため、附属機関として設置しているが、コロナ禍により、対面での開催が三年ぶりとなってしまい申し訳なく思っている。本日委嘱した4名の皆様をはじめ、委員各位からのご意見、貴重なご提言をいただくなかで審議を進めるため、ご指導、ご協力をお願いしたい。

本日の審議会では第二次甲斐市総合計画、後期基本計画及び第二期甲斐市まち・ひと・しごと創生総合戦略の成果指標の報告のほか、県緑化センター跡地活用事業及び、木質バイオマス発電事業の進捗状況についても、事務局から説明させていただく。

併せて、令和7年度を始期とする第三次甲斐市総合計画及び人口ビジョン等の策定についても説明する予定のため、多岐にわたるご審議をよろしく願いたい。

現在、鈴虫を25名ほどのメンバーで飼育しているが、神奈川県海老名市長からも鈴虫が欲しいと言われ、当初は3箱程度かと想定していたが、保育園、小学校、福祉施設にも配布したいとの申し出があり、たくさんお譲りしたところ、本日、海老名市の子どもたちから、鈴虫の絵を描かれたお礼状をいただいた。

そのほか、市内で舞うホタルの数も少なくなっているため、春からホタルの幼虫の飼育に取り組んでいる。3年後位には市内で蛍が舞うような夢を描きながら、隣の昭和町や甲府市に負けないように環境づくりをしていきたい。

また、竜王駅南口にあるケヤキにたくさんのムクドリが飛来しており、鳴き声や糞害などに対する苦情が寄せられており、対応に苦慮している。皆様からもア

アイデアがあれば教えていただきたい。

4、副会長選出、委員紹介

- ・本日出席している委員の自己紹介を行った。
- ・副会長の選任について、委員より事務局案を求められたことから、塩沢委員を指名し、承認された。

5 会長あいさつ

本日はお忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。先ほど市長からも話があったが、3年ぶりに対面で会議が開催できることを、喜ばしく思っている。

私から2点申し上げたい。1つ目は、日本社会は新型コロナの感染拡大を経験し、一部の地域では新たな働き方や生活習慣が定着してきていること。2つ目は国際的な動きを見ると、米中関係の悪化やロシアによるウクライナ侵攻による国際情勢の緊張が高まり、半導体や高性能蓄電池、医薬品など経済委安全保障上の重要品目の国内生産回帰が進んでいることである。

本日は市民の関心の高い2つの事業や、総合計画、総合戦略に関する審議を行うので、皆様からの意見を賜り、充実した会議にしたい。

■市長公務のため途中退席

6 案件

案件（1）

木質バイオマス発電事業の進捗状況について事務局から報告

（委員）

ウッドショックにより輸入木材が高騰しており、塩尻市にあるバイオマス発電所は燃料の供給ができず経営破綻した。7,000kWの発電だと一日に使用する原木も相当な量になると考えられるが、原木の供給状況はどのようになっているか。

（事務局）

担当課に確認したところ、燃料となる原木は年間8万トンの供給を予定しており、7割を県内、3割を県外からの調達する計画で、約30社と木材供給に関

する覚書を交わしており、今現在のところ、必要とされる原木を賄える見込みと
のことであった。

塩尻の発電所については、木材供給だけでなく、他の要因も加わり破綻したと
聞いている。

(委員)

廃熱利用については、現在どのような計画となっているか。

(事務局)

市の構想においては、廃熱を周辺の公共施設である、温泉、プールに活用する
ことを検討している。

案件（２）

(仮称) 篠原地区公園整備事業の進捗状況について事務局から報告

(委員)

(仮称) 篠原地区公園については、都市計画審議会において地区公園として都
市計画決定されているが、地域の実情を踏まえて山梨大学の大山先生に協力の
いただき、地域住民とのワークショップを開催し、ここまで進んできている。

しかし、過去の経過により、長い期間放置されてきたことから、できるだけ早
期に共用開始してほしい。

(事務局)

令和６年度には工事着手できるよう準備を進めている。また経過については
報告させていただく。

(委員)

当初は有料の公園と聞いていたが、子どもを中心とした施設になると聞き、人
件費が多くかかることを懸念している。また、カフェレストラン設置した場合、
親と子どもが別々になってしまうのでは教育上よくないのではないかと感じてい
る。

(事務局)

コロナ前は市費を抑制するため、有料化を検討していたこともあったが、コロ
ナ禍により当初計画を白紙撤回し、市民とのワークショップを行うなかで、子育
て支援施設となった。

有料化については現在サウンディングを行うなかで検討している。カフェレストランについては、地区公園であるので、子どもに特化するというよりも地域の方が集える場を目指しており、子どもと親が分かれるということは想定していない。今回の資料は今後に向けてのたたき台であるので、また経過について報告させていただく。

(委員)

子どもだけでなく、お年寄りも憩える場所にしたほうがよいと考えており、そうすると駐車場が狭いのではないかと感じている。市のバスが入ってくることを想定すると、もう少し駐車場は広いほうがよいのではないか。

(事務局)

意見として担当課に申し伝える。

補記：会議終了後、委員からの意見を都市計画課に伝達済み

(委員)

甲斐市は非常に眺望がよいが、今回の計画では眺望のよさを活かすという言葉が見当たらない。カフェレストランを作るのであれば眺望のよさを活かしてもらいたい。

(事務局)

意見として担当課に申し伝える。

補記：会議終了後、委員からの意見を都市計画課に伝達済み

(委員)

整備する芝生広場はグラウンドゴルフの貸し出しは考えているか。

(事務局)

現在、実施設計中のため、具体的なところは考えていないと思われるが、意見として担当課に伝える。

補記：会議終了後、委員からの意見を都市計画課に伝達済み

案件（3）

第2次甲斐市総合計画後期基本計画成果指標進捗状況について、事務局から説明

(委員)

多くの指標でコロナが原因と書かれているが、コロナ以外の要因についても標記したほうが受け手にとってわかりやすいのではないか。

個別の指標で中小河川のBODについて、1年でこんなに悪くなるのかと感じた。原因は採取した時期ではないかと思うが、公表するデータでもあるので採取時期の統一などについても検討したほうがよいのではないか。

例えば私の子どもはコロナの影響によりプールで泳げない。今後コロナで達成できなかったことは、次の計画にも引き継ぎ、活かしてもらいたい。

(事務局)

コロナの影響については、多岐にわたっているが、要因としてはコロナ以外の要因も考えられるので、わかりやすい表記について今後工夫していきたい。

河川調査の件には担当課にも申し伝える。

令和7年度の総合計画改定を予定しているので、委員の皆様の意見をいただきながら策定してまいりたいので、今後ともご協力を賜りたい。

補記（環境課からの回答）：水質低下の要因としては、水路工事による通水停止や少雨により令和4年度は河川の流量が少なく、小河川では生活排水の影響が大きく出たと考えられるため、平均BOD値が基準値を上回る河川の割合が増えたと推測される。

水質調査時期は、台風等天候の影響で、時期がずれる場合もあるが、おおむね同じ時期での測定を心掛けており、例年7月下旬と1月下旬の年2回の調査を行っている。

案件（4）

甲斐市まち・ひと・しごと創生総合戦略成果目標（KPI）の進捗状況について、事務局から説明

(委員)

達成率がすべてではないと思うが、総合計画が21%、総合戦略が30%となっているが、行政の目標の達成率というのは通常このようなものか。他市と比較して優れているか、遅れているのかを教えてください。

(事務局)

令和6年度の目標に対して達成率が低い要因としては、コロナの影響もあるが、そもそも目標値が高すぎたといったことが考えられる。これについては次期

計画策定時に、いただいた意見を踏まえた目標設定しなければならないと考えている。

特に他市と比較して優れている、劣っているということはないと考えている。

案件（５）

第３次甲斐市総合計画（基本計画）及び次期人口ビジョン、総合戦略の策定について、事務局から説明

（委員）

次期人口ビジョンについて、甲斐市の人口は山梨県で２番目であり、釜無川流域下水道においても相当な負担金を支払っており、発言力も大きくなるべきと思っている。山中湖村と忍野村でも人口が逆転している。甲斐市だけの計画ではないと思うので、それなりのビジョンが必要なので、プロポーザルにおいても戦略が示されているか審査してもらいたい。

（事務局）

委員の指摘を踏まえ、次期計画の策定を準備していきたい。

（委員）

甲斐市には交通アクセスに恵まれており、これにより人口が増えていると考えられる。これからは、大きな視野で拠点づくりを進めたらどうかと考えている。例えば双葉ふれあい文化館周辺を文化芸術拠点として整備する、工業団地の整備、敷島クラインガルテン周辺を自然体験村として整備する、など、篠原地区公園もそうだが、人が集まり、生産性が高まる、活気あるまちにしてもらいたい。

（事務局）

民間活力を活用しながら、様々な事業に取り組むとともに、次期計画に反映してまいりたい。

７ その他

（事務局）

今回の第２回審議会につきましては、２月頃の開催を予定しているので、よろしくお願ひしたい。

以上